

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		本人がより良く暮らす為の課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ホームでの満足した生活が出来るようにする。	①利用者がその人らしく過ごして頂けるよう本人や家族、職員の意見を反映する。 ②個人記録、気づき、何が原因で起きているか内容を詳しく生活を記録し問題点、課題を見つけケアプランに反映していく。 ③職員の意見や提供は現場での気づきでもあるのでより多くの意見や提案をケアプランに反映していく。 ④現状に伴い本人、家族を含めて話し合いをしながら見直しをしていく。	12ヶ月
2		どこのホームでも男性利用者が楽しく暮らせる雰囲気作りが一つの課題となっている。助成の楽しさと男性とは違うと思うが、特に男性は何処に自分の生きがいを感じてもらえるか。	ホームでの生活に生きがいを感じてもらう。	①一人一人の意欲の活用ができるよう職員と利用共有し話し合ってみる。 ②男性利用者を中心に何か一緒にしてみようと声掛けをする。 ③賑やかにするにはもっともっと出来る事を引き出してあげる。 ④地域のボランティアの受け入れ、地域のイベントへ出掛ける計画をする。 ⑤利用者の意見を可能な限り実践出来る様にしていく。 ⑥関わりの中で利用者が何がしたいか、どうしてほしいか理解する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。